

「第2回 春光台・鷹の巣まちづくり推進協議会」を開催しました

- 開催日 令和5年10月31日(金) 18:30 ～ 19:30
- 場 所 春光台公民館 1階 講座室

- 委員15名
(出席者12名)
- 事務局
・公民館職員3名



◆推進協議会での主な内容◆

☆ 地域の各団体における課題等

【春光台公民館運営理事会】

- 地域の特性における課題として、①各種事業への参加者が高齢者に限られている。②地域の中で歩行困難な高齢者が増加している。③市民委員会の関係になるが、町内会役員のなり手がいない。
- ④若い世代の参加者がいないために、公民館の各サークルの構成員が減少してきている。

【高台小学校(春光台中学校)】

- 課題としては、交通安全指導、不審者への対応などがあり、全市的な課題としていじめ問題がある。

【鷹の巣福祉村地区交通安全協会(春光台地区交通安全協会)】

- 市民委員会における交通安全指導部の部員が少ないことから、次年度からは小中学校のPTAの保護者にも声をかけながら交通安全指導を進めていきたいと考えている。

【春光台地区社会福祉協議会】

- 高齢者の見守り安心事業を地区社協単独で行っているが、地域の協力が得づらい状況や事業を実施する上での担い手が不足している。

【春光台地区民生委員児童委員協議会】

- 地域の高齢者とのつながりを持つことが難しくなっている。

【高台チャレンジクラブ】

- 高台チャレンジクラブは、地域での活動をメインに活動していきたい。

【春光台地区市民委員会】

- 市民委員会としては、コロナ前に実施していた事業の復活を目標に活動を進めていきたいと考えているが、地域住民の高齢化や住民個々の考え方の違いによる担い手の確保が課題となっている。

【春光・春光台地域包括支援センター】

- 各機関の役職の担い手が不足している。

【鷹の巣福祉村地区社会福祉協議会】

- 高齢者の移動手段の確保が課題となっている。

【鷹の巣福祉村地区市民委員会】

- コロナの関係で中止になっている雪まつりの実施に向けての話し合いを始めていきたい。

【春光台商工振興会】

- 少子高齢化が進み、労働者不足や後継者問題が顕著化してきている。